

美郷がいちばん、すきです美郷

ふたし 議会だより

第27号

2011.4.15

地域経済の活性化に期待

P2

震災特集

一歩ずつのまちづくり P4

子どものえがおが宝もの
(なかよし園入園式より)

プロジェクト事業内容	6
全体質疑	8
常任委員会審査	10
22年度補正予算・単行議案	13
一般質問	14
追跡レポート	17
提出議案一覧	19
キラリ美郷人	20

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

地域経済の活性化に期待



昨年度おこなわれた5プロジェクト事業より

3月定例会を3月3日から15日までの13日間の会期で開きました。審議した議案は、平成23年度一般会計予算など37議案。その全てを、原案のとおり可決しました。

また、一般質問は3議員が登壇して町政をただし、陳情3件を採択・1件を不採択としました。

総 合計画後期基本計画の2年目となる平成23年度一般会計当初予算額が、111億3791万円（前年度当初比2・1%増）となりました。これに、3月補正予算に計上した国の「きめ細かな交付金」と「住民生活に光を注ぐ交付金」の合計2億7019万円を加えると、実質114億810万円の予算額です。

議 会では、この平成23年度一般・特別会計の当初予算案を、3月9日全体質疑し3常任委員会に分割して付託し審査しました。そして、最終日に採決した結果、平成23年度一般会計予算を賛成多数（賛成15人・反対2人）で可決しました。また、5つの特別会計予算は、国民健康保険と後期高齢者医療特別会計予算を賛成多数（賛成15人・反対2人）で、その他の特別会計予算を全員賛成で可決しました。

こ れは、平成22年度を越える当初予算規模で、平成20年の世界同時不況の影響がいまだに続く地域経済の活性化に期待できます。

ま た、総合計画後期基本計画の柱として、各課が連携して取り組んでいる5つの『まちづくり戦

『水』をテーマに学官連携

松田町長の平成23年度施政方針説明より（抜粋・要約）

「美郷町が誕生し、早くも7年目を迎えました。私はこれまで一貫して『融和と前進』を基本とし、地域間交流の促進や地販地消活動の推進、水環境保全活動の展開や公共施設の再編などの取り組みを重ね、一体感の醸成と行政課題の解決に力を注いでまいりました。

一方、行政環境は、価値観の多様化や経済の長期低迷、政権交代による施策転換などで複雑化しています。こうした環境に適切に対応して将来にわたる発展を期すために

は、将来を見通しながら今おこなうべき取り組みに勇気と決意を持って望み、着実・堅実に施策を展開していくことが肝要です。

そのため、美郷町総合計画後期基本計画2年目の平成23年度は、喫緊の課題に取り組むとともに引き続き『まちづくり戦略プロジェクト』を中心に総合的な施策展開をしてまいります。

とりわけ、学校再編による空き校舎施設の活用については、住民検討委員会の答申を踏まえ早期

に活用計画を策定するほか、公共施設再編計画の見直しをおこないます。また、老朽化した六郷保育園・幼稚園の設計に着手し、統合中学校の『美郷中学校』開校に向けた万全な準備に努めます。

さらに、経営自立化に向けた温泉施設の運営一元化に着手し、学官連携による幅広い施策展開を期して『秋田大学』と連携協定を結び、地域資源の『水』をテーマにした各般の取り組みを総合的に展開してまいります」

「藤清水」



一歩ずつのまぢづり

3月11日午後2時46分頃に発生した『東日本大震災』での美郷町の被害や、その後の町の対応などをお伝えします。



被災地へ向かう救援トラック

役場前の給水所

本会議での黙とう

今定例会中に発生した『東日本大震災』で犠牲になられた方々を哀悼し、ご家族の方々に深くお悔やみもうしあげます。また、被災されました皆さまにお見舞いもうしあげるとともに、希望ある未来を心から願っております。

この地震で、美郷町は震度4の強い揺れを観測しました。また、地震発生と同時に町内全てが停電し、地下水をホームポンプで汲み上げているご家庭では断水状態となりました。町では、3月11・12・13日の3日間、町内3カ所に給水所を設置して対応し、防災行政無線を通じて町民の皆さまに周知しました。

地震による被害状況は、壁の損

壊など人家被害2件と車両被害1件、水道管など公共施設被害2件の被災にとどまりました。しかし、いつ何時このような大災害に見舞われるのかはわかりません。自然の猛威にはあらがえないにしても、少しでも被害を抑える準備が必要でしょう。

今定例会で審査した平成23年度一般会計予算は、後期基本計画で策定した5つのプロジェクト事業を柱として編成されました。その一つに『安全・安心プロジェクト』があります。美郷町のそなえが万全とはいきませんが、被災地と共通の思いで、一歩ずつのまぢづくりが大切です。

復興を信じて

3月末現在、多くの町民の皆さまから、町内3カ所でおこなっている救援物資受付窓口には救援物資が届けられています。また、義援金やボランティア活動、節電の協力などの様々な形で支援している方々もいらつしやいます。

議会でも、本会議が再開された3月15日、美郷町議会全員の有志として日本赤十字社秋田県支部に10万円の義援金を支援しました。

また町でも、秋田県町村会からの要請をうけて人口割での433万5800円を支援し、職員互助会が30万円、管理職会が5万円支援しています。

避難者支援としては、3月18日に町が避難者支援対策部を設置し、表1の支援活動をおこなっています。また3月23日、美

表1 3月18日

東北関東大震災に伴う避難者支援対策部設置

- 相談窓口開設
- 1次避難者所 (いきいき館・トレセンみさと) の運営
- 避難者の定住 (アパート、空き家 家屋の情報提供)
- 避難者の健康管理 (健康相談・健康診断)
- 避難者の就労 (就労情報の提供)
- 避難者の就学支援 (学校、幼保園)
- 2次避難所開設準備 [旧六郷東根小学校]

いきいき館	19日午前9時開設
トレセン	20日午前10時開設
旧六郷東根小	3月下旬開設予定

※ 1次避難所は2次避難所開設と同時に閉鎖する。

表2 3月23日

岩手県大船渡市へ、支援物資に町長・議長連名のメッセージを添えてお届けしました。

品目	数量
お米 (精米)	2トン (30kg×67袋)
飲料水	30個 (18 $\frac{1}{2}$ ×30本)
醤油	20箱 (1 $\frac{1}{2}$ ×300本)
味噌	20箱 (10kg×20個)
乾燥野菜	156個 (味噌汁の具、切干大根、椎茸)

郷町に直接支援要請があった岩手県大船渡市に、表2の支援物資をお届けしました。

被災地の復興や、被災した人々の心が安らぐ日までには何年の歳月がかかるのかわかりません。しかし、町民の皆さまの善意や活動が、今、日本全国に広がっている『がんばろう日本』の思いに結実することを信じています。

5プロジェクト事業が刷新

平成23年度、各課連携でおこなう5つのプロジェクト事業が刷新されました。その内容と、新年度予算の概要をお伝えします。

①農商工連携（地販地消）プロジェクト

昨年「まひるの恵」に続く農産物を加工した新たな商品の開発と生産・販売への支援などをおこないます。

▼農産加工品販売拡大支援事業

185万円

▼ふるさと雇用再生臨時対策基金事業

1050万円

商業と工業の連携強化

起業支援室の入居者への家賃一部補助や、事業所の新設・増設を支援します。

▼空き店舗対策事業

35万円

▼商業振興奨励金交付事業

60万円

地域内消費の促進

商店会・商店グループが実施する活性化事業などを支援します。

▼地域商店等活性化事業

50万円

▼地販地消推進事業

181万円

②子ども育成プロジェクト

確かな学力を身につけた子供の育成。子どもの個性に合わせた教育の実践などをおこないます。

▼学力定着度調査

59万円

▼読書環境充実事業

405万円

▼個性と創造力をもつ子どもの育成

各分野で活躍する一流の方々との交流などをおこないます。

▼芸術文化活動事業

123万円

▼学校交流事業

160万円

▼子どもの心と体の健全な育成

食育教育の推進や、スポーツ少年団の活動を支援します。

▼子どもの健康づくり・食育推進事業

45万円

▼少年スポーツ振興事業

385万円

③水環境保全プロジェクト

水辺清掃ボランティア活動や植樹活動などをおこないます。

▼不法投棄防止対策水辺清掃ボランティア事業

222万円

▼農地・水・環境保全向上支援事業

4922万円

▼水環境学習機会の創出と提供

秋田大学との学官連携事業などをおこないます。

▼秋田大学実験型出前講座開催事業

10万円

▼水環境学習交流事業

69万円

▼水とのふれあいの場の提供

天神堂・清水川の遊歩道整備などを実施します。

▼清水川遊歩道整備および寺町通り親水公園管理事業

1069万円

▼水辺を歩こう事業

41万円

④交流促進プロジェクト

地域資源の情報発信と売り込みの推進。東京都太田区民を対象にした農作業体験ツアーなどをおこないます。

▼うりこめ美郷応援事業

526万円

▼学習交流の推進

大田区や、かすみがうら市などとの交流事業をおこないます。

▼大田区子どもガーデンパーティー交流事業

41万円

▼歴史学習交流事業

19万円

▼友好交流の推進

大田区で活動する演奏家との交流コンサ

▼IoTなどをおこないます。
▼友好交流コンサート開催事業 136万円
▼友好都市ふれあい広場開催事業 67万円

⑤安全・安心プロジェクト

防災行政無線の子局39基の整備などを実施します。

▼防災行政無線整備事業

1億3943万円

▼看護師配置事業

2938万円

▼社会資本の安全・安心

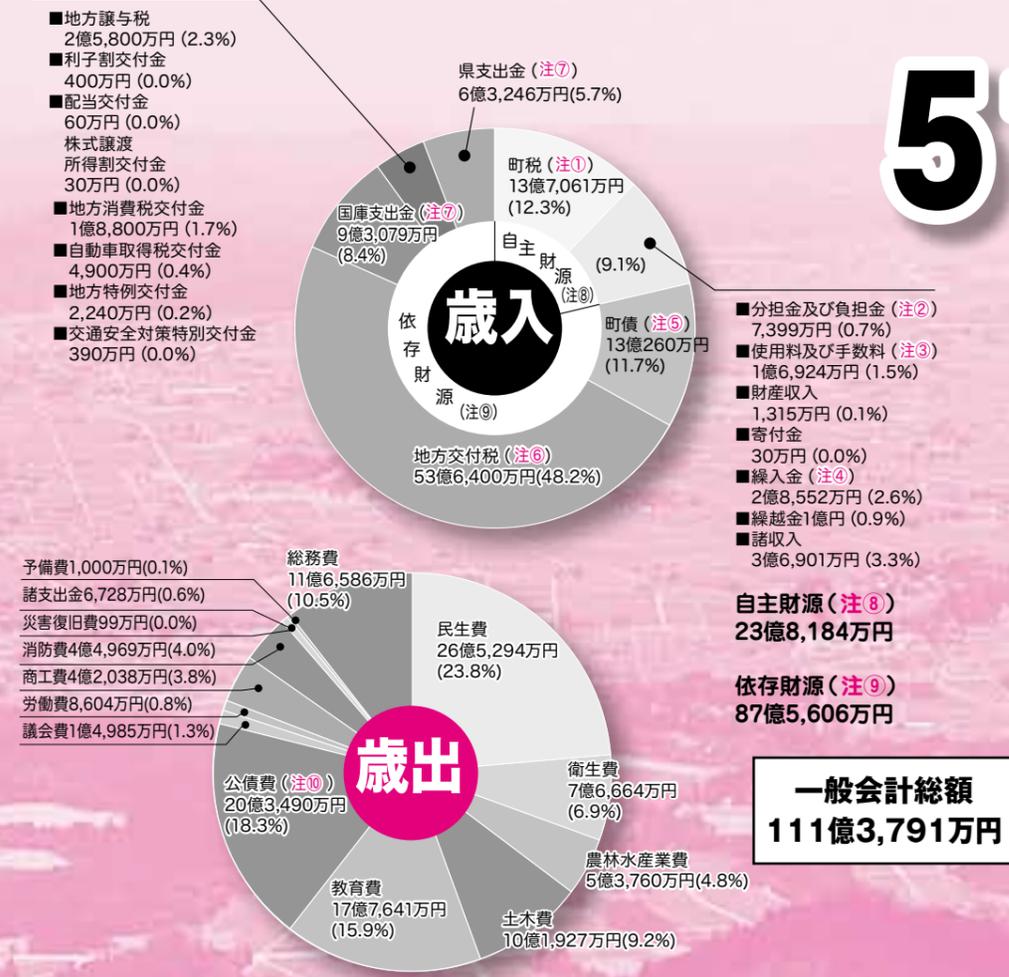
橋梁の長寿命化計画策定などを実施します。

▼橋梁点検事業

1000万円

▼緊急自動車不通解消事業・歩道整備事業

6850万円



用語解説

注①町税 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税。

注②分担金及び負担金 町が特定の事業を行う場合に、その経費に充てるため、特別に関係のある人から経費の全部または一部を徴収したお金。

注③使用料及び手数料 町の施設の使用料や、証明書等発行の際の手数料。

注④繰入金 基金や特別会計から一般会計に繰入れられたお金。

注⑤町債 町が資金調達のために行う長期借入金(借金)。

注⑥地方交付税 自治体ごとの税収の差をならし、どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分するお金。

注⑦国庫・県支出金 特定の事業をするために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金。

注⑧自主財源 町税や使用料・手数料など、町が独自に調達するお金。

注⑨依存財源 地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金。

注⑩公債費 町債(借金)の返済に充てるお金。

各特別会計別の予算表

件名	平成23年度(前年度比)
美郷町国民健康保険特別会計予算	26億8,262万円 (0.0%)
美郷町簡易水道事業特別会計予算	3億6,188万円 (△4.3%)
美郷町下水道事業特別会計予算	1億7,607万円 (1.7%)
美郷町農業集落排水事業特別会計予算	1億8,385万円 (△12.6%)
美郷町後期高齢者医療特別会計予算	1億7,296万円 (△9.3%)
計	35億7,738万円

23年度予算を斬る

3月9日、本会議で全体質疑をおこないました。主な質疑を要約しお伝えします。

一般会計予算

弁護士が必要なのか

深澤(均)議員 顧問弁護士委託料は必要とする事態を予測してか。

総務課長 町づくりを進めるうえで法の解釈や、法律上のトラブルなどに対応するためだ。

賠償事故の対応は

深沢(義)議員 集落内の公園遊具や会館などの、管理が原因での賠償事故保険対応はどうなるか。

総務課長 公園遊具は対象となるが、集落会館は対象外だ。

正職員採用の考えは

熊谷(隆)議員 臨時保育士賃金が1億円以上の予算

計上だが、今後の正職員採用の考えは。

幼児教育課長 少子化が続く状況の中、正職員採用は慎重にならざるを得ない。

学校以外の考えは

泉(美)議員 六郷小学校の空き教室を児童クラブ施設として活用する計画だが、学校以外での考えはないか。

対象者限定の理由は

泉(美)議員 インフルエンザ予防接種への助成対象が全年齢とならないのはなぜか。

福祉保健課長 成人層の接種率が低く、現実に合わせて高校生以下と妊婦、それに65歳以上を主な対象とした。

集積所の設置場所は

泉(美)議員 古紙集積所の設置場所はどこか。

助成金の内容

泉(美)議員 資源ゴミ集回促進助成金の内容は、**住民生活課長** 各集落で集回回収し販売した量に対しては試作段階だ。

て補助金を交付するもので、町づくりガイドなどで周知していく。

特産品開発の進捗は

中村(美)議員 22年度から取り組んだ特産品開発はどこまで進んでいるか。

事業の内訳

熊谷(隆)議員 町単独のモミガラ補助暗渠整備支援事業費の内訳は。

農業法人設立予定は

飛澤議員 23年度、農業法人設立に向けた動きはあるか。

農政課長 本堂地区3集落営農組織の法人化が予定されている。

補助金の内容

泉(美)議員 住宅リフォーム緊急支援補助金の内訳と制度周知は。

建設課長 県事業と同じ内容だが、町単独として一戸当たり10万円を限度に助成するもので広報などで周知する。

安全対策は

深澤(均)議員 ヘッドレストのないスクールバスに対する安全対策は。
学務課長 安全対策を講ずるとともに、今後のバス購入に配慮していく。

運行計画は

熊谷(隆)議員 スクールバスの運行計画と保護者への説明は。

学務課長 安全な乗降場所を選定するなど早急に計画を立て説明する予定だ。

熊谷(隆)議員 バスに乗れる基準距離が遠いと考えている保護者もいるようだが。

学務課長 国の遠距離基準よりも1km減じているが、歩くことも大事だと考えている。

どこで活動する

泉(美)議員 六小体育館改修時のスポーツ活動はどこでおこなうのか。
学務課長 町内施設利用で検討中だ。

賛成討論

森元議員 2年目となる後期基本計画のもと、まちづくりプロジェクトを中心に据え、その目的に沿った予算編成であり評価する。

熊谷(隆)議員 有利な起債を活用するなど財政の健全化に配慮しながら、町独自の農業支援策や教育環境の充実に向けた予算編成であり賛成する。

反対討論

泉(美)議員 住宅リフォーム緊急支援事業など評価する点もあるが、住民要望の医療費無料化拡大や介護保険の軽減策を求め反対する。

国民健康保険特別会計予算

伸びの根拠は

泉(美)議員 医療費の伸びを8%と見込んでいるがその根拠は。
福祉保健課長 22年度が9%ほど伸びており、重度化している状況から積算した。

税収納率の見込みは

泉(美)議員 税収納率の見込みとこれまでの推移は。
税務課長 平成21年度の93・57%を確保したい。また、税収納率は2年間で1・5%ほど悪化している。



六小体育館



スクールバス



古紙集積所



わくわく児童クラブ

前年度当初比8%増を見込む

3月11日、総務常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された平成23年度一般会計予算を審査しました。その結果、賛成多数（賛成4人・反対1人）で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

歳入

吉野委員 町民税は、前年度比8%増だが景気回復の実感はない。22年度当初予算を、過少計上しすぎたのではないか。

税務課長 給与所得は、世界同時不況の影響から回復基調で約120億円増とした。また、9000万円ほどの減収予想が5000万円ほどの減収で収まった22年度の税収入を勘案しての編成だ。

徴収状況は

泉（美）委員 県の滞納整理機構と連携しての徴収状況を聞きたい。
税務課長 22年度、8世帯9件の860万2千円を機構に依頼し、52万2千円を収納している。

財政の見通し

高橋委員 合併特例期

間終了後の財政見通しは、**企画財政課長** 地方交付税は一本算定がなくなり、5年間で段階的に減る。最終的に10億円ほどの交付税減を見込んでいる。

起債の使い分けは

高橋委員 合併特例債の今後の見込みと、過疎債との使い分けは。

企画財政課長 合併特例債は、全体総枠127億円の51%ぐらいになるだろう。事業では、交付金事業に特例債を活用し単独事業に過疎債を適用する。

歳出

目標管理の趣旨は

森元委員 目標管理研修の趣旨を聞きたい。
総務課長 職員研修の効率執行と資質向上の面から実施しており、目標管理を人事評価につなげる取り組みをしている。

林業振興の姿勢は

熊谷（隆）委員 県は林業振興に力を入れているが町の姿勢を聞きたい。
総務課長 仏沢の町有林を間伐し林業を育成する。町の緑化と将来の財産形成のため毎年実施したい。

目標の基金額は

高橋委員 財政調整基金など、町が目標とする基金額を聞きたい。
企画財政課長 22年度末の財政調整基金は、12億

円を超える。目標を、標準財政規模の5%とするところもあるし20%という学者もいるが、町の標準財政規模は80億円で10%をクリアしている。



総務常任委員会審査

教育民生常任委員会

防災行政無線を増設

3月10日、教育民生常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された平成23年度一般会計予算と、国民健康保険・後期高齢者医療特別会費を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

中村（美）委員 防災行政無線は計画より増設するとあるが、全住民に完全に聞こえるのか。

住民生活課長 これまでの計画より16基増やし、全体で130基整備する。在宅状況などにより音声が届きにくいこともあるが、チャイムに注意してほしい。

補助金減の理由は

飛澤委員 社会福祉協議会への補助金が1100万円減る理由は。
福祉保健課長 補助金は主に人件費であり、社協の人員適性化計画に基づき減額した。

紙おむつ支給内容は

戸澤委員 紙おむつ支給事業の委託先は。また、希望枚数の支給か。
福祉保健課長 社協に委託している。介護度4と5の在宅介護者110名に、定められた枚数を隔月支給している。

活動助成は充分か

澁谷委員 自殺防止予防活動中の『てとての会』への助成は充分か。
福祉保健課長 研修費以外にも予算を置き、活動を助成している。

耐震性貯水槽の特徴は

福田委員 耐震性貯水槽は、従来の防火水槽と比較してどんな特徴があるのか。

住民生活課長 従来型は現場でのコンクリート打設だ。計画中の水槽は既製品であり、設置場所や工期で有利だ。

中村（美）委員 防火水槽は、

住民と議会との懇談会でも設置要望されたが、設置箇所

選定基準を聞きたい。
住民生活課長 消防水利の不足地域を調査して、今後10カ所計画 중이다。

安全・安心メールシステム内容は

飛澤委員 安全・安心メールシステムの内容は。また複数登録は可能か。
学務課長 携帯電話を利用し、緊急性のある警察や学校からの情報を直接送信するシステムで、複数登録も可能だ。

改修工事内容

飛澤委員 六郷小学校とプールの改修工事内容は。
学務課長 学校本体は不便な部分を改修し、体育館の暖房工事とプールの大規模改修を行う。

生ごみ量の変化は

戸澤委員 北給食センターが食缶方式に変更したことによる残飯などの生ごみ量の変化は。
学務課長 3割以上は確実に減少している。



全体で130基整備される防災行政無線

もみ殻補助暗渠に期待大

3月14日産業建設常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された平成23年度一般会計予算と、簡易水道・上下水道特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。
以下、主な質疑を要約しお伝えします。



もみ殻暗渠の施工

深沢（義）委員 もみ殻補助暗渠整備支援事業の効果は。
農政課長 県のデータでは、大豆の場合2・3倍の増収が見込める。
取り組み内容は
深沢（義）委員 うりこめ美郷応援事業の内容は。
農政課長 新たな取り組みとして、大田区の消費者を対象に農作業体験ツアーを企画する。

協議会内容は
武藤委員 都市農村交流促進協議会の活動内容は。
農政課長 協議会は町内19人で組織されており、22年度は県外から3校の修学旅行で46人を受け入れた。今後、民宿の支援も拡大していく。
雇用対策は
武藤委員 雇用対策費の内容を聞きたい。

商工観光交流課長 7課11事業で各調査事業を中心に54人の雇用を予定している。
里山を守れ
武藤委員 松くい虫やブナ枯れ、ナラ枯れなどの対策と町民への啓蒙が必要だ。
農政課長 松くい虫は防除と樹幹注入を実施する。ブナ・ナラ枯れは、町内では発見されていないが、今後、里山の大切さを町民へ広報していく。
CM大賞の放映を
深沢（義）委員 朝日放送のCM大賞作品を、道の駅など町内公共施設で放映できないか。
商工観光交流課長 主催者との著作権契約があり難しい。
短期間で実施を
深澤（均）委員 集落内道路整備は短期間で実施すべきだ。
建設課長 事業費の少ない工事についてはその考えだ。

簡易水道特別会計
有収率は
伊藤委員 町内簡易水道10施設の漏水などの※有収率を聞きたい。
建設課長 工事による漏水や消火栓利用などが影響するが平均で79・3%だ。
※有収率 給水する水量と、料金として収入のあった水量との比率のこと。

今後の課題は
深澤（均）委員 今回の大震災でライフラインの大切さを再認識したが、水道事業での教訓と今後の課題は。
建設課長 水道10施設の自家発電設置やシステム整備、町専用の燃料確保、給水対応などの検討の必要性を感じた。

平成22年度一般会計補正予算

どうする雪害対策

今定例会で審議した、平成22年度補正予算や単行議案などの主な内容と質疑を要約しお伝えします。

今定例会で可決した平成22年度一般会計補正予算の主な内容は、この冬の豪雪被害への復旧対策事業費補助金2236万円や公共施設整備基金積立金1億6000万円などです。
歳入・歳出それぞれに4億6305万円を追加し、総額を121億8698万円としました。

雪害復旧対策は
深沢（義）議員 豪雪による農業施設や果樹被害への対応と周知は。
農政課長 県の方針に従いながら算定される被害額に対し、県2分の1と町6分の1の助成を考えている。また、説明会を開催し周知につとめる。

総務課長 枝払いと合わせ、この冬有効だった重機を使った雪降ろしなど、できる限りの対応をしていく。
今後の安全対策は
泉（美）議員 雪による賠償事故がたびたび発生しているが、今後の安全対策は。
総務課長 豪雪により想定できなかった雪の落下による事故だったが、今後は十分な安全対策を講ずる。



被害を受けたパイプハウス

並木の落雪対策は
戸澤議員 杉並木、松並木の落雪事故防止のため予防対策をもつと検討すべきだ。

助成金減額の理由は
飛澤議員 鍵田地区の基盤整備事業地元推進団体補助金がなくなった理由と、今後の対応を聞きたい。
農政課長 水利権と改良区に未加入が理由だが、圃場整備の同意ができるようであれば積極的に応援していく。

ワクチン不足の対応は
深澤（均）議員 子宮頸がんワクチンが不足し、接種が困難という報道があるが。
福祉保健課長 接種時期が伸びる可能性もあるが、特段の心配はないと考えている。

を加える改正です。
雁の里山本公園設置条例の改正
内容 これまでの使用時間『8時30分～17時30分』を『9時～17時』とする改正です。
特定地区公園条例の改正
内容 これまでの使用時間『8時30分～17時30分』を『9時～17時』とする改正です。

美郷町立学校設置条例の改正
内容 統合する千畑地区、仙南地区の小学校名をそれぞれ「千畑小学校」「仙南小学校」とする改正です。
廃棄物条例の改正
内容 少人数世帯の需要に対応、指定ごみ袋に20リサイズ

単行議案
サービスの低下では
深澤（均）議員 利用者の立場から猛暑などを考慮すると、サービス低下にならないか。
商工観光交流課長 一般的な時間として改定したうえで、利用者の健康などに支障がある場合は、随時変更するなど対処していく。

一般質問

次年度に向けた考えを質す

ただ

④可能な限りの早期発注に努めていきたい。

質問者

吉野 久 議員
飛澤龍右工門 議員
泉 美和子 議員

※PDCAサイクル：業務を円滑に進める手法の一つで、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（見直し）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善すること。
※プライマリーバランス：一般会計で、歳入総額から町債発行収入を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランスのこと。

新年度予算の基本方針は町長「成果を積みあげていく」



議員 新年度予算の基本方針について、町長の政治姿勢と併せ尋ねる。
①平成23年度は町が誕生してから7年目となり、合併特例債などの優遇措置もあと4年間だ。また後期基本計画でのジャンプアップを目指したまちづくりも2年目を迎える。そして、2期目の町長任期の満了まで残り1年8カ月だ。この状況下での

②理想とする町財政の到達点と財政運営での基本理念は。
③事業成果をより向上するためには、事業システムに※PDCAサイクルを取り入れることが不可欠だ。この2年間のプロジェクトでの取り組みをどう検証し、改善点をどう工夫して再々提案しているのか。
④町の疲弊した経済状況を活性化するため、3月補正で前倒しした「きめ細かな交付金」と「住民生活に光を注ぐ交付金」事業を早期に発注すべきだ。

本姿勢は、時間意識は常に持ちながらもカウントダウンではなくカウントアップの姿勢だ。新年度予算編成も、これまでの成果をふまえて着実に積みあげていく位置づけでのぞんだ。合併特例債の基金造成可能額は、今後の財政環境をみずすすでに満額造成している。交付税の減少を意識して、公共施設の再編整備にも着手し、経常経費の圧縮にとりくんできた。
②財政健全化判断比率が早期健全化基準を上まわらないことが基本目標だ。※プライマリーバランスの黒字化はできる限り堅持していきたい。
③PDCAサイクルを活用した検証・評価で、課



緊急に信号機の設置を町長「粘り強く要望する」



本館地区の交差点

議員 町では、公安委員会に数箇所の信号機設置を要望していると聞いた。しかし、設置場所によって要望内容が異なると思う。町は、設置場所の実態を十分に把握しているのだろうか。
六郷カントリー前道路と広域農道が交わる交差点では、この冬8件ほどの事故が発生し2件で救急車が出動した。この交差点には、信号機と横断歩道設置が緊急を要すると思われる。

議員 町では、公安委員会に数箇所の信号機設置を要望していると聞いた。しかし、設置場所によって要望内容が異なると思う。町は、設置場所の実態を十分に把握しているのだろうか。
六郷カントリー前道路と広域農道が交わる交差点では、この冬8件ほどの事故が発生し2件で救急車が出動した。この交差点には、信号機と横断歩道設置が緊急を要すると思われる。

街路灯の改修を

議員 六郷カントリーの西側道路と六郷小学校通りの街路灯は、ほとんど機能していない。安全・安心につながる対策を早急に講ずるべきだ。

町長 六小前6基、カントリー西側の町道安楽

ど非常に厳しい状況で、大仙署管内の今年度実績はなかった。
この状況を踏まえ、町では昨年4月に、指摘箇所への注意喚起看板を設置した。しかし、冬期間の事故も多発しており、今後も粘り強く要望していく。また、注意喚起の看板も増設する。
六小前は、5基が機能停止し1基が機能低下している。またカントリー西側の町道では、3基が機能停止し2基が機能低下、住民要望で交換した照明灯が1基ある。
今後、六小前は光が不足している箇所を確認し、照明機器の交換など早急に対応する。またカントリー西側の省エネ街路灯は、付近に防犯灯がまったくないことから、東北電力と電力引き込みの協議をしてできるだけ早く新たな照明機器に交換する。



飛澤龍右工門 議員

TPP参加の阻止を 町長「国全体での議論を求める」



泉 美和子 議員

議員 TPPは、すべての品目の関税撤廃を原則としている。参加すれば、日本の農水産業は壊滅するとみられている。また地域経済にも大きな被害をおよぼすものだ。TPP参加が当地域に与える影響と、参加についてどう考えるか見解を問う。また、国民生活に重大な影響をおよぼすTPP参加はやめるよう国に求めるべきだ。

町長 賛否両論が出ていく状況で安易に影響数値算出は抵抗があるが、農水省と秋田県の試算に基づき農業分野のみ試算すると、美郷町への影響は、国産品を安い輸入品に置

き換えた場合に農業算出額で54億円、比率で84.4%減少する結果となる。現在賛否を含めて比較検討できる情報がないので、具体を論ずることは判断を誤る危険性がある。仮に国が結論ありきのようなら進めかたをするのであれば、それは大いに異議があるところだ。国は賛否両面での影響や今後の対応方策などを早急に提示すべきで、国全体での議論を求めている。



米の低温倉庫

減免制度の周知を

議員 長引く不況で、国保加入者にとっては、国保税とともに医療費の支払いが大変だ。

国が昨年、生活に困窮する国保加入者の窓口での医療費の一部負担金減免の新基準を発表し、減額が実行された場合の財源も補填するとしている。この制度の周知を図っていくべきだ。

町長 減免基準が厳しく対象となる人は限られているので、全体的な周知はかえって混乱をまねくおそれがある。個別の納税相談などで必要と思われる人に周知したい。



追跡レポート

Vol.1

平成22年7月開催の『住民と議会の懇談会』より

住民 ラベンダー園のある大台野広場への道路が狭いので、事故が心配だ。
住民 草地内道路が狭いため交差に難儀している。

その後、町が現地を調査して検討し、今定例会で23年度事業としての調査測量と一部工事予算を可決しました。改良される「町道オノ神・相長根線」は、ラベンダー園を経由し、千屋地区、外川原地区およびみずほの里ロードへ接続する準幹線道路です。整備により、大台野広場観光事業の効果が促進が期待でき、また、狭い区間が解消され歩行者の安全が図られます。

町道「オノ神・相長根線」改良の内容

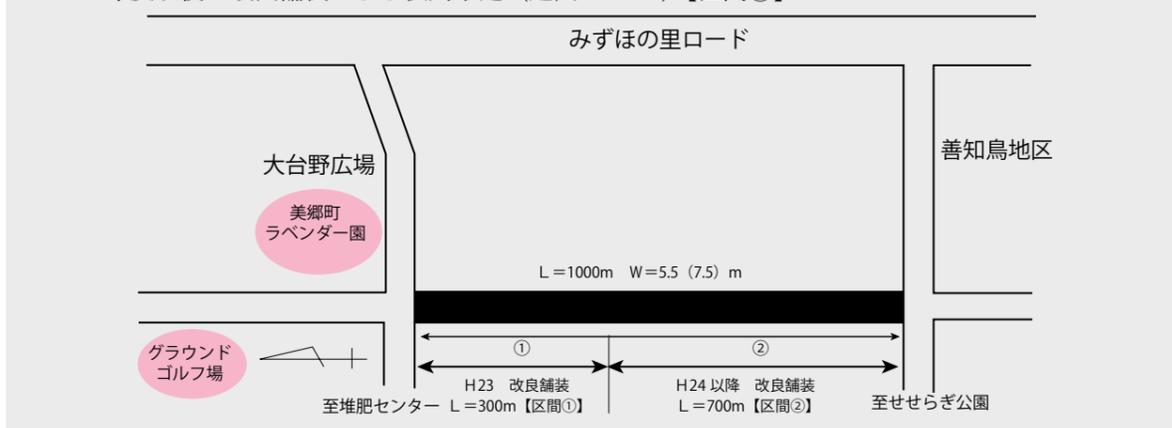
延長…1km
全幅員…7・5m（2車線）
事業費…1億円



ラベンダー園

《今後の予定》

- ・ H 24 年 4 月に供用予定（延長 300 m）【区間①】
- ・ H 24 年度以後に改良舗装および供用予定（延長 700 m）【区間②】



提出議案一覧

議案第3号	秋田市町村総合事務組合規約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第4号	大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第5号	町道の認定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第6号	町道の廃止について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第7号	美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第8号	美郷町ペット霊園の設置等に関する条例の制定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第9号	美郷町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第10号	美郷町肉用牛導入基金条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第11号	美郷町税条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第12号	美郷町手数料条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第13号	美郷町特別会計条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第14号	美郷町立学校設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第15号	美郷町青少年研修施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第16号	美郷町雁の里山本公園設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第17号	美郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第18号	美郷町道路占用料徴収条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第19号	美郷町特定地区公園条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第20号	美郷町簡易水道事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第21号	美郷町下水道事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第22号	美郷町農業集落排水事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第23号	平成22年度美郷町一般会計補正予算第10号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第24号	平成22年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第4号	〈賛成15人・反対2人で原案可決〉
議案第25号	平成22年度美郷町老人保健特別会計補正予算第2号	〈賛成15人・反対2人で原案可決〉
議案第26号	平成22年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第5号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第27号	平成22年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第28号	平成22年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第29号	平成22年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第30号	平成23年度美郷町一般会計予算	〈賛成15人・反対2人で原案可決〉
議案第31号	平成23年度美郷町国民健康保険特別会計予算	〈賛成15人・反対2人で原案可決〉
議案第32号	平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第33号	平成23年度美郷町下水道事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第34号	平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第35号	平成23年度美郷町後期高齢者医療特別会計予算	〈賛成15人・反対2人で原案可決〉
議案第36号	平成22年度美郷町一般会計補正予算第11号	〈全員賛成で原案可決〉
発議第1号	2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第2号	最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第3号	労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉

2月17・18日東京のシェーンバッハ・サポーターで第73回町議会広報研修会が開かれ「議会広報特別委員会」の委員6人が参加しました。

1日目は、①広報文章の決め手は校正力 ②広報誌の企画とレイアウトの発進力のある紙面づくり ③議会広報の撮影と表現方法の講議を受けました。

2日目は分科会で、広報コンサルタントの深沢徹氏から「みさと議会だより第25号」の講評がありました。

講評内容は、①一般質問は



全国から多数の広報委員が参加しました

全国町村議会広報研修会
わかりやすく親しみやすい
広報づくりを目指して

質問全項目を掲載し、的確な要約でゆとりあるレイアウト、QA大見出し、小見出しもよい。②・3面の大見出しは記事と連動し、いいキャッチフレーズ、画面のイメージ写真も好感。③住民と議会との懇談会は住民の声と提言、議会の回答、町の回答を簡潔、的確に伝える好記事、などの評価を得ました。

また、改善点として①見出しの「定例会概要」「決算概要」「質問内容多岐にわたる」などいかに硬い。②議決結果は賛成多数ではなく賛否数まで明記したい。③決算のデータとしては町債と基金の現在額（借金と貯金の現在額）は不可欠の情報、監査委員の決算審査について簡潔でも掲載したい、などの指導がありました。

今回の研修を契機に、分かりやすく親しみやすい広報づくりに、さらに努力していきます。

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める陳情書（全員賛成）
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 中村 秀也
- ◇労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める陳情書（全員賛成）
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 中村 秀也
- ◇2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情（全員賛成）
全日本年金者組合
秋田県本部執行委員長 渡部 雅子
大曲支部執行委員長 石渡 志夫

不採択としました

- ◇辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書について（採択3人・不採択14人）
秋田県平和委員会 理事長 風間幸蔵

議会の動き

4月	5日	30日	17日	14日	11日	10日	3日	1日	3月	24日	21日	17日	2日	18日	14日	1月	
	広報特別委員会	広報特別委員会	政策等意見交換会	常任委員会	産業建設	総務常任委員会	教育民生	常任委員会	（～15日）	第3回議会定例会	議会運営委員会	政策等意見交換会	議会運営委員会	第2回議会臨時会	議会広報特別委員会	会研修（～18日）	政策等意見交換会
																	第1回議会臨時会

表彰

2月24日、平成22年度秋田県町村議会議長会自治功労者表彰式が開催され、泉繁夫議員と飛澤龍石工門議員が秋田県町村議長会自治功労者表彰を受けました。

第2回臨時会(2月2日) 豪雪対策費を承認、可決

第2回臨時会を開催し、豪雪による除排雪諸経費など1142万円の専決処分を承認し、さらに道路除排雪経費、融雪剤、公共施設雪下ろし除排雪費など8057万円を全会一致で可決しました。

補正後の一般会計予算額は、117億2393万円になります。

第1回臨時会(1月14日) ワクチン接種拡大費などを可決

第1回臨時会を開催し、町長より1月13日に豪雪対策本部設置の報告がありました。

議案では、子宮頸がんワクチン接種拡大に要する経費の増額、あつたか山露天風呂手すり取り付け工事費や、坂本東嶽邸耐震補強計画の作成業務委託経費など296万円を全会一致で可決しました。補正後の一般会計予算額は、116億3193万円になります。

キラリ美郷人 VOL.22

シリーズ

キラリ美郷人は、学校シリーズ第6回目として千屋小学校の活動を紹介します。

千屋小学校は今年、130周年でした。「千屋」と言えば、皆さんの頭に浮かぶのが松並木でしょう。そうです！本校だけの宝物ではありませんが美郷町の木である赤松の並木です。松並木は広大な校地の校舎・校庭とグラウンドの間にあり、ほぼ南北に一直線になっています。その中を、「走る美郷っ子」のスローガンのとおり、体力づくりのために週3日を「並木っ子ランニング」と称して5分間走を続けています。このがんばりが秋の全校マラソン大会へとつながっています。平均して体格が全国トップレベルという本県にあって、「体力」という中身をともなうてこそトップレベルと考えています。



「続ける つなげる」 千屋小学校

クイズ ?

問1 平成23年度一般会計予算は実質〇〇〇億810万円となりました。

問2 防災行政無線は全体で〇〇〇基整備します。
..... 〇に入る数字をお答えください。

応募方法 / はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
また、議会への提言などもお待ちしております。

あて先 / 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日 / 平成23年5月16日(当日消印有効)

●次回定例会は、6月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

もうひとつの特色が34年続いている港区立御田小学校との交流でしょう。毎年、夏休みに受け入れと訪問の相互交流が続いています。今や子どもとの時に交流で行き来した経験がある人が親になって、自分の子どもたちが交流に参加しているという「交流2世」が現れています。「絆」という言葉で表現にすることがありますが、この長い年月をつなげていることに本当に人と人との心の絆があるのだと再認識させられました。

これらふたつのことから、続けていくということとつなげていくという「継続」がキーワードになります。どちらも簡単にはできません。困難、難儀を乗り越えた時の成就感を楽しみに、次世代につながっていくことを祈りながら…

校長 小原 靖

美郷町議会事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。